



元気な

グループ紹介



「よきこいへの情熱」

神石踊り娘隊 きらきら星

「いつしか時の

流れが止まる

水のふるさと

香取峡の奥深く

霧に浮かぶ 神龍湖

風は雲を呼び

雲は龍を呼び

神の龍が住むという

ここに新たな

神龍伝説が始まる」

幽玄な語りのにせて、

オリジナル曲「神石神

龍伝説」が始まる。悠久

の歴史と豊かな自然を表

現するこの踊りは、やが

て神石高原の美しい星空

に舞う踊り娘達のエネルギー

を歌い上げる。

「満天の星が、きらめき舞う

わがふるさと神石高原に

そびえる 星居山に

舞い降りし 我ら踊り娘達

その名は 神石踊り娘隊

さらさら星 舞い踊れ」

平成十四年に旧神石町

牧地域で誕生した私達の

チームは、現在油木・三

和地域からのメンバーも

加わり、四十三名を数え

ます。

平成十六年の県民文化

祭芸能の部で最優秀賞を

受賞、今年五月には念願

のひろしまフワフエ

ステイバルに出場しまし

た。夏には、自慢の地方

車（パレード出場用音源

車）を製作し、府中・上

下のパレードではアイデ

ア賞と準大賞をいただき

ました。町内外のイベン

トへの出演は年間二十回

にものぼっています。

「よきこいへの情熱と和

練習を重ねて迎えた出演

前の緊張と、息がびたつ

と合って踊り終えた後の

爽快感は最高です。

現在、二曲目の持ち曲

を制作中で、この曲をひ

つさげ高知よさこい祭に出

場することが目標です。

これからも多方面から

のご支援をお願いします

とともに、「よきこいが

もっともおもしろい、美し

い季節です。

魅力に満ちた我が大地

を、じっくりと味わいな

がら、多くの人に神石高

原の自慢ばなしをし、し

ょうではありませんか。

十二月議会では、十六

年度の決算審査が行われ

ます。皆様の傍聴をお待

ちしています。

（寄）

神石高原は、一年中で

空はどこまでも青く、

刈り終えた稲株から伸び

る緑の妙なる力に感動し

ながら、大地の恵みに感

動する実りの秋。

数々の苦難をのりこえ

た豊作の味と香りは、勝

利の証し。

編集後記



大好き」という皆さんの参加を心からお待ちしております。

（代表 村上 俊二）